

2023年1月12日

各位

会 社 名 株式会社アイガー
 (コード番号 9226 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役社長 木田 裕士
 問合せ先 取締役経営管理局长 武内美由紀
 T E L 03-3216-6111
 U R L <https://field.ne.jp>

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年1月12日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年6月22日開示「東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました2022年11月期(2021年12月1日～2022年11月30日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年11月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年12月1日～2022年11月30日)

(単位：百万円)

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1,382	92	90	59	58.05円
今回修正予想 (B)	1,149	11	10	5	5.59円
増 減 額 (B - A)	△233	△81	△80	△53	
増 減 率 (%)	△16.9	△87.9	△88.8	△90.4	
(ご参考) 前期連結実績 (2021年11月期)	1,275	136	134	88	86.71円

2. 修正の理由

当社グループは、売上高の8割を教育機関が占めているため、当社グループの業績は教育機関の動向に大きく影響を受けます。

2021年度私立大学志願者数が約15%減少（「入学者選抜実施状況」（文部科学省）によります。）したことで、各教育機関においては入学検定料等の収入減となり、広告予算等の予算削減をしておりました。こうした影響を受け、連結売上高に関しては、教育機関に対する広告ブランディング事業の売上が前回発表予想1,382百万円から1,149百万円に下回る見通しとなりました。通期連結業績予想の策定時、すでに受注済みであった案件が大半を占める第2四半期、第3四半期に関しては、売上高は堅調に推移しておりました。一方で、印刷物の追加増刷等の追加受注売上が大半を占める第4四半期においては、2022年度に初めて新型コロナウイルス感染症の蔓延による影響をうけることとなり、大きく売上高を減少させる原因となりました。

連結営業利益に関しては、第4四半期における想定外の連結売上高の減少に伴って82百万円減少しております。その結果、前回発表予想92百万円から11百万円となり、大きく下回る見通しとなりました。連結営業利益含め各段階利益の減少要因は、連結売上高の大幅な減少に伴うものであり、この他主要な要因はございません。

以 上

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。